

新宮山彦ぐるーぷ第2132回

### 行仙宿毛布に防虫剤・除湿剤など、補給路の一部改修処理

◇実施日… 2021年5月23日(日) 晴

◇参加者… 梶野照雄、山川治雄、大江加予子・徳子、畑林清子  
5名

計画の行事は無かったが、梅雨の晴れ間が予報されていたので、補給路の穴あき部分に横木を取り付ける準備をしていたところ、山川さんから電話があり、一緒に行ってくれることになった。



大江さん到着



穴開き現場



横木取り付け完了

沖崎さんからも連絡があり、大江さん、畑林さんが毛布に防虫剤と除湿剤を入れに行くという。時間を合わせて登山口に向かった。

山川さんは、横木にする檜丸太の二つ割りと、管理棟掘り炬燵の穴を塞ぐコンパネを持参してくださった。

モノレールに荷物を積み込み終点に向かう。終点から穴あき現場まで3往復してチェーンソーや横木を運ぶ。現場に生熊さんが渡した木は、長さが150cm、幅は60cmで、横木のサイズもピッタリだった。女性陣に先行してもらい、山川さんと二人で横木の取り付けを行う。並べられた木の出っ張りをチェーンソーで切り取り、ほぼ等間隔に横木を取り付けた。ツーバイフォーの端材を隙間に取り付けて完工。約15分の作業だった。



穴を塞ぐ



毛布の畳み直し



掃除機で掃除

行仙宿に着いて、管理棟の床穴を塞ぐ。コンパネは80×90cmで、穴は81×81cmだ、当ててみると少し隙間があるが、取り外しの時に指が入るので、かえって便利かと思う、90cmの方を丸鋸で切って正方形にしてはめ込んだ。先日、カビだらけの木で急遽穴を塞いだのが、今回きれいなコンパネで塞ぐことが出来たので、上に

敷かれていたシートは取り除いた。  
女性陣は管理棟の毛布を畳み直して、防虫剤を入れ、除湿剤を足元に置いた。掃除機を出して掃除もして頂いた。



登山者の対応

お堂の整理

ひび割れ発見

その後、トイレ掃除やお堂の掃除、御供の取替などを行う。11時半頃に浦向へ降りるといふ登山者が一名到着。山川さんが対応して、道案内を行った。その後、行仙岳方向へ2名の登山者が通過した。

昼食後は、小屋内の整理とカマド付近の清掃を行う。

玄関横の雨水槽を洗っていた大江さんがひび割れを発見。表面のヒビで、漏れるところまでは進行していないが、次の浴槽を準備しておく必要があるそうだ。

シンク上の棚が低くて使いづらいとの注文があり、倉庫にあった材料で20cm高くした。使いやすくなったとおおむね好評だった。カマド周りもきれいに整理され、お堂前で写真を撮って下山した。



棚を上げる



本日の参加者



下山完了

(記：梶野)

### 行動タイム

登山口 09:30 → 10:30 行仙宿 13:50 → 14:20 登山口